

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和6年 第7週 (2/12~2/18) 【COVID-19 情報】

令和6(2024)年 2月 22日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点あたりの報告数は8.38で、前週(11.12)と比べて減少しました。
- ・年代別では10歳未満、10歳代で減少傾向が見られます。70歳代以上では前週より減少しているものの多く報告されています。他の年代は低い水準で推移しています。
- ・保健所別では増加傾向が見られる保健所圏域はありません。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

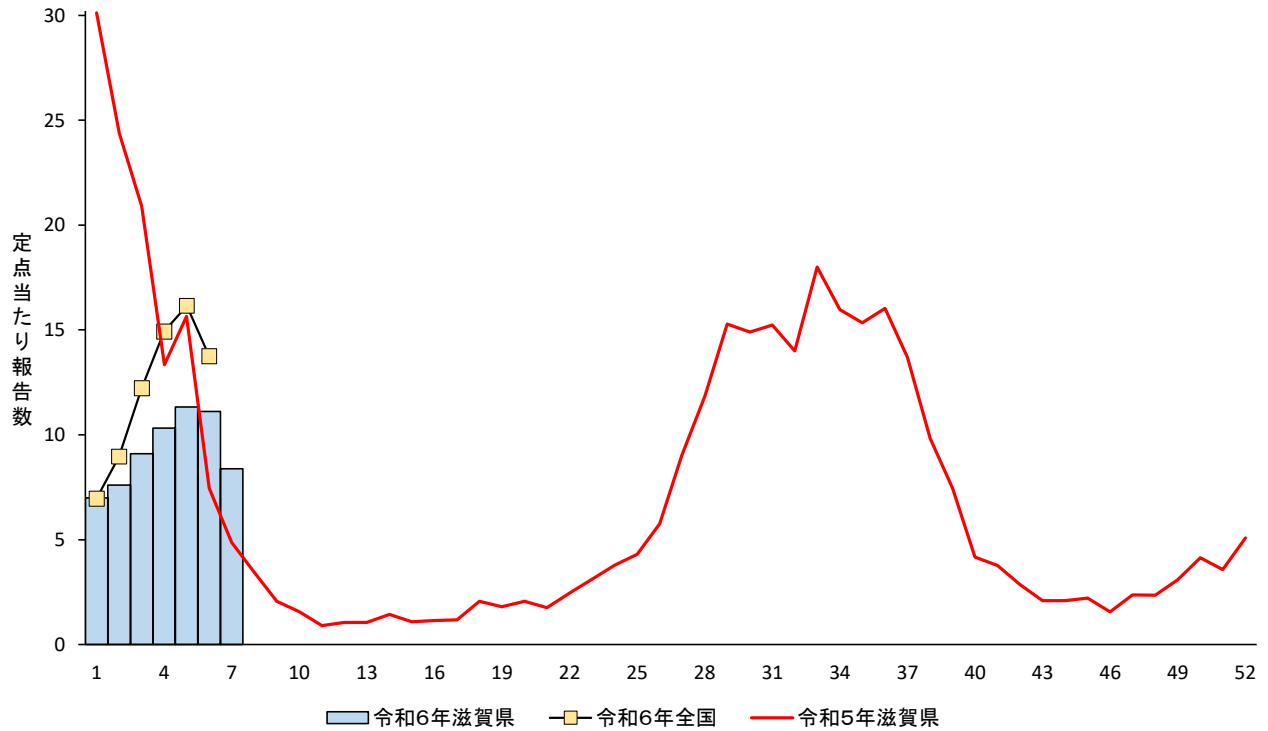
定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(COVID-19の例: 1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別							全国 (前週)
		2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
COVID-19 (定点数:60)	COVID-19	11.33	11.12	8.38	8.62	8.38	7.00	9.90	8.71	7.14	7.67	13.75
基幹 (定点数:7)	COVID-19入院	4.71	12.00	8.86	10.00	21.00	3.00	3.00	11.00	8.00	6.00	6.76

3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

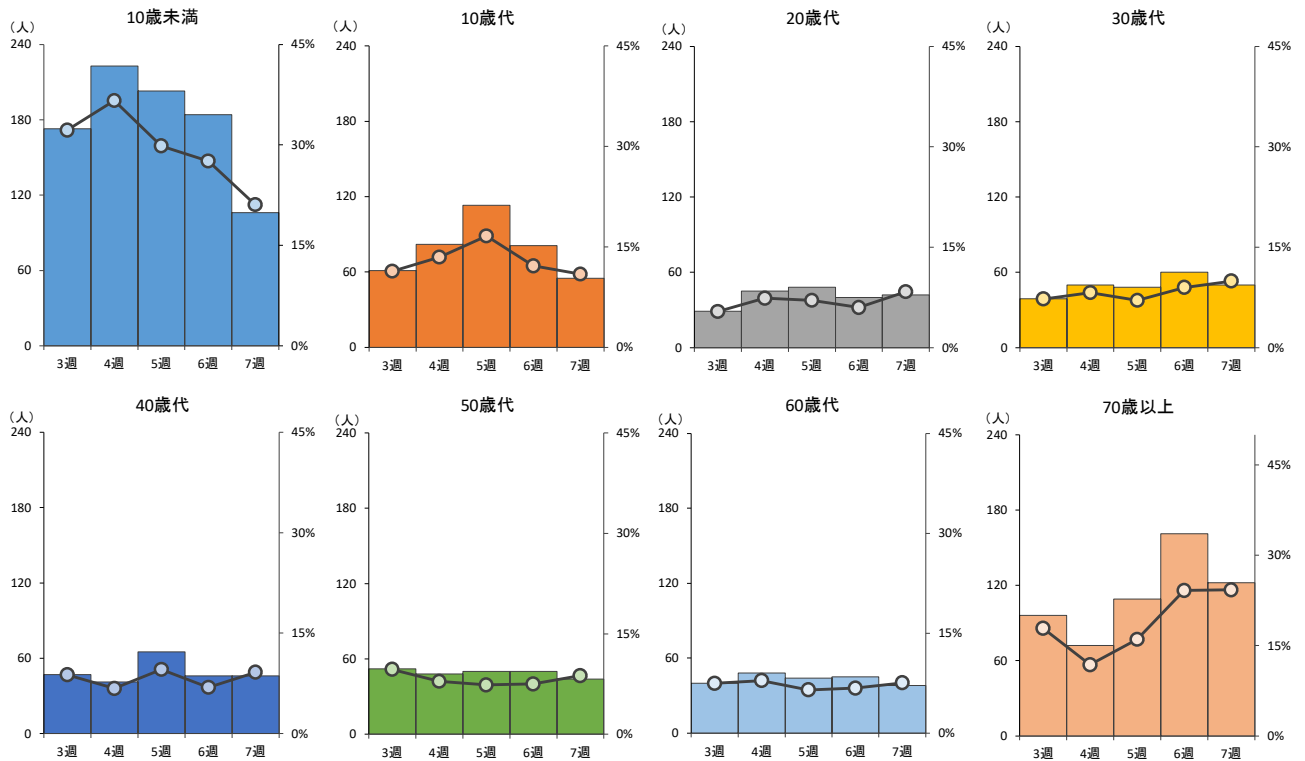
COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
COVID-19 (60医療機関)	503	7	11	14	9	7	14	8	12	9	4	11	35	20	42	50	46	44	38	50	72
大津市保健所 (13医療機関)	112	2	-	2	-	2	3	1	1	-	-	-	3	6	14	18	15	12	10	9	14
草津保健所 (13医療機関)	109	-	3	2	1	2	2	5	1	-	1	3	7	6	5	10	8	13	7	15	18
甲賀保健所 (7医療機関)	49	2	1	1	-	-	1	-	3	1	-	2	4	2	4	2	3	3	5	9	6
東近江保健所 (10医療機関)	99	2	5	7	4	3	6	-	5	5	1	3	6	4	4	8	12	8	5	3	8
彦根保健所 (7医療機関)	61	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	-	7	-	8	8	1	3	8	8	14
長浜保健所 (7医療機関)	50	-	1	1	3	-	1	2	2	1	1	3	7	1	3	-	4	5	1	5	9
高島保健所 (3医療機関)	23	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	4	4	3	-	2	1	3
COVID-19入院 (7医療機関)	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	9	12	37

4. 滋賀県と全国の COVID-19 の発生動向 (全国は前週まで掲載)

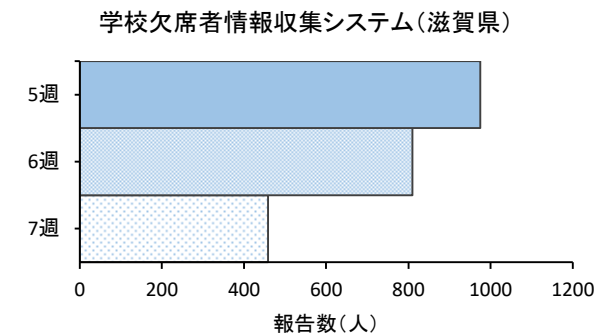
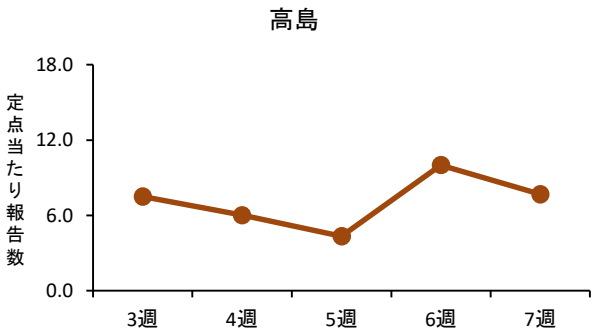
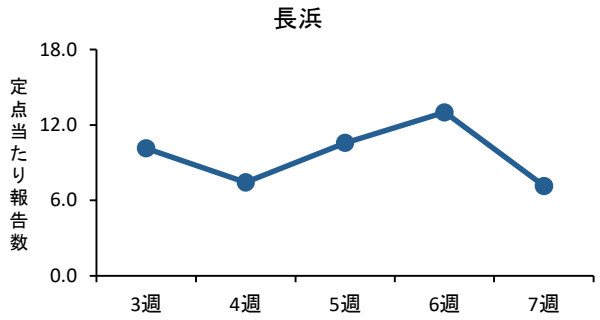
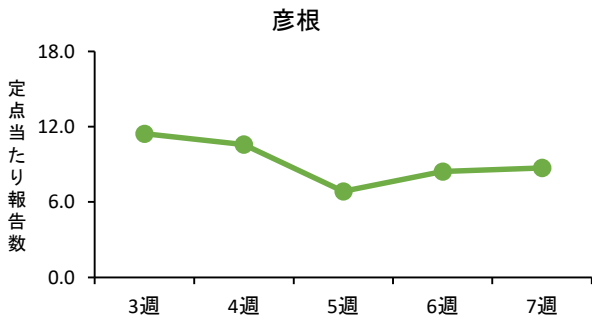
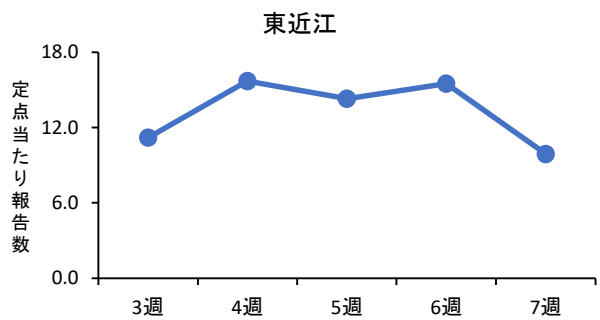
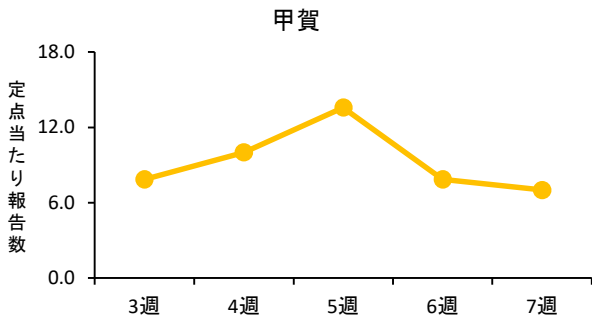
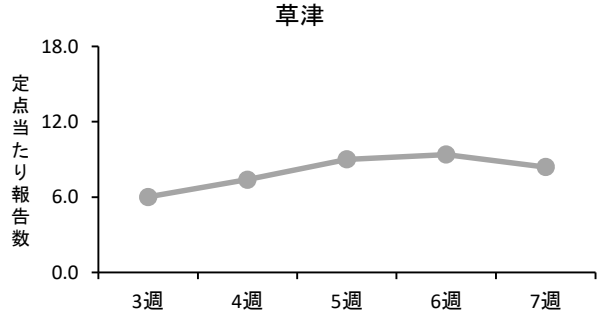
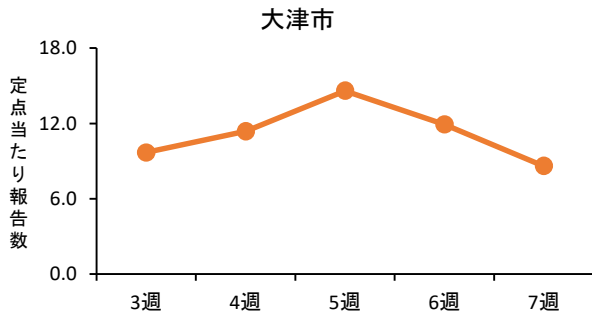
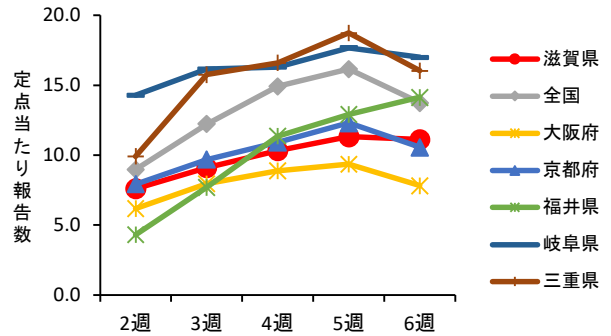
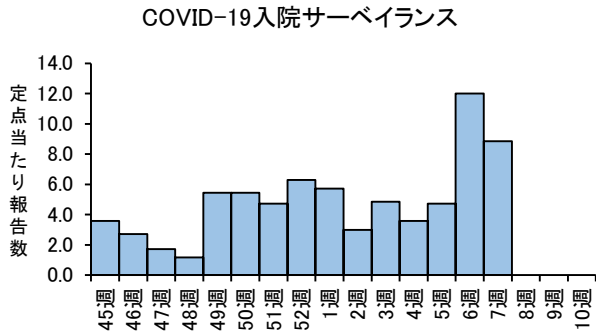


5. COVID-19 の年齢階級別推移 (滋賀県)

棒グラフ (左軸): 報告数 (人) 折れ線グラフ (右軸): 全年齢に占める割合 (%)



6. COVID-19の発生動向・保健所別推移等（全国・他府県は前週まで掲載）



1) 県内の入院状況

入院者数	うち重症者数
266	3

2/20更新データを掲載しています。
 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、通常の医療提供体制へ段階的に移行していきます。
 重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

2) クラスターの発生状況について

介護関連事業所	障害福祉関連施設	医療機関
1	0	0

2/12～2/18に県で確認したクラスターを掲載しています。
 保健所への相談、イベントベースサーベイランスでの検査等で、同一施設で5名以上の陽性者が確認された事例をクラスターとして報告しています。

3) 検査数

検査数	7,724件
-----	--------

2/12～2/18に県で確認した検査数を掲載しています。

4) 県内の外来対応医療機関のひっ迫状況について

県内の状況	14.3%
-------	-------

2/12～2/18までに「ひっ迫している」と報告した医療機関の割合を算出しています。
 ※医療機関等情報支援システム(G-MIS)により集計

5) 救急搬送困難事案

発生件数	0件
------	----

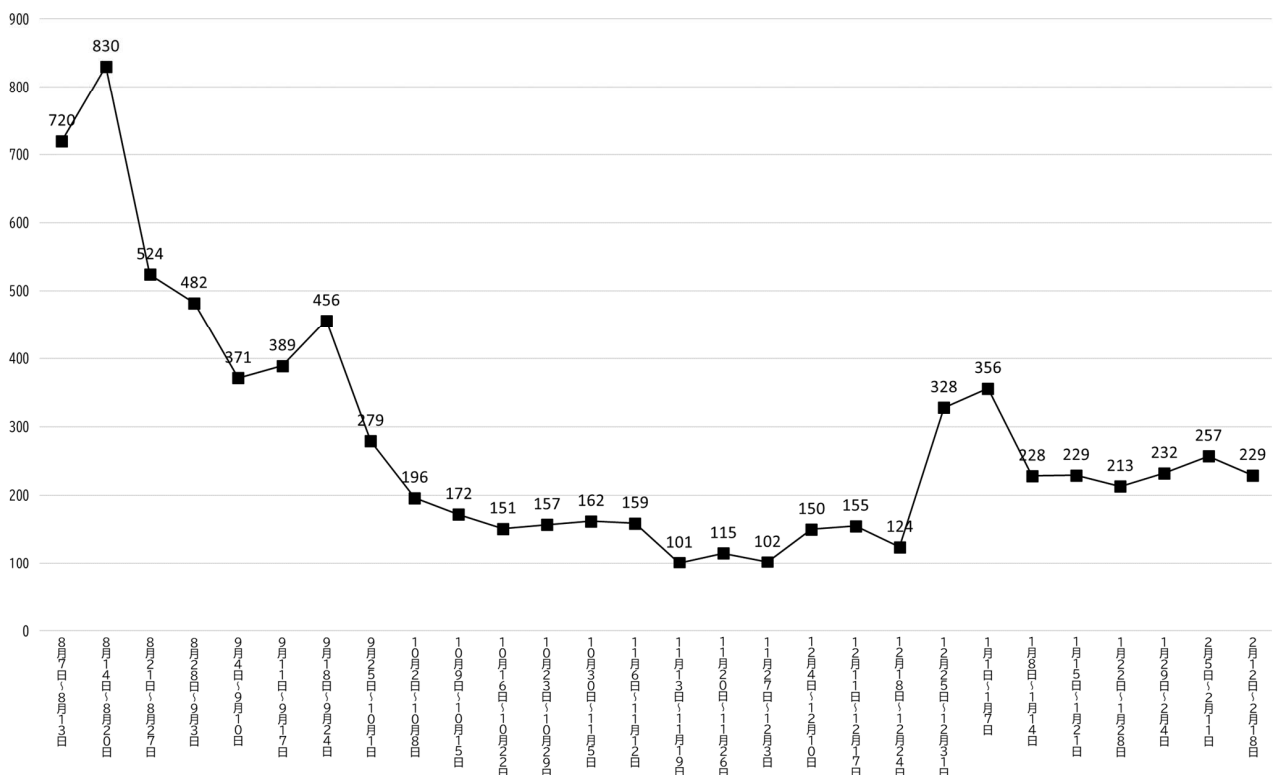
2/12～2/18における大津市消防局からの報告数を掲載しています。

相談体制について

相談件数(週計)

■-受診・相談センター

相談件数(件)



- 世界的にはJN.1系統が88.2%(増加傾向)、EG.5系統が5.4%(減少傾向)、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)が3.7%(減少傾向)を占めている。(WHO COVID-19 Epidemiological Update Edition 164 published 16 February 2024)
- 全国的にはJN.1系統は増加傾向であり、滋賀県では令和5年11月に初めて検出された。EG.5系統(HK.3系統を含む)およびBA.2.86系統(JN.1系統を除く)は減少傾向である。
- 滋賀県では、令和6年1月時点でBA.2.86系統が全体の37.7%(うち JN.1系統は32.8%、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)は4.9%)、XBB系統が全体の37.7%(うち EG.5系統(HK.3系統を含む)は36.1%、その他XBB系統は1.6%)を占めており、主流系統が XBB系統からBA.2.86系統に置き換わりつつある。中でも、JN.1系統が増加傾向(令和5年11月:2.0%、12月:17.2%、令和6年1月:32.8%)であり、今後の動向に注意が必要である。
- 世界中で拡大しているJN.1系統は、EG.5系統(HK.3系統を含む)や先祖株であるBA.2.86系統よりも拡がりやすい可能性があるとして報告された。HK.3系統やBA.2.86系統よりも免疫を逃れる性質は強いが、ワクチンの効果はこれまで流行していたXBB系統と同程度の有効性が期待できるという見解が示されている。また、重症度が高くなる知見はなく、公衆衛生上のリスクは他のオミクロン株と同等とされている。(令和6年1月5日 東京大学医学科学研究所, 令和6年2月16日 国立感染症研究所)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報) (注)グラフの数値は、2月18日時点の暫定値です。

